豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol. 74

議会だより

2019. 8. 1 発行

2P 第2回 定例会
3P 審議案件と議決結果
4P 主な質疑・討論
5P 一般質問
7名が町政について質問
12P まちのようす

令和元年 第２回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

（第３日）令和元年６月21日㈮　○：賛成　×：反対　－：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名		質疑	討論	結果	岡本明	星場眞人	松下和照	渡部厚子	鹿島國男	片山文昭	明本恵一	岩本文昭
議案第22号	専決処分の承認を求めることについて（専決第１号 上勝町税条例等の一部を改正する条例について）		無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第23号	専決処分の承認を求めることについて（専決第２号　上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて（専決第３号　平成30年度上勝町一般会計補正予算（補正第６号）について）		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第25号	上勝町ゼロ・ウェイストセンターの設置及び管理に関する条例の制定について		有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第26号	上勝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	上勝町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について		有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第28号	上勝町介護保険条例の一部を改正する条例について		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第29号	上勝町廃棄物処理及び再利用促進に関する条例の一部を改正する条例について		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第30号	令和元年度上勝町一般会計補正予算（補正第１号）について	修正案	有	有	修正案否決	×	×	×	○	×	×	○	－
		原案	有	有	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	－
議案第31号	令和元年度上勝町介護保険特別会計補正予算（補正第１号）について		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第32号	令和元年度上勝町国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第１号）について		有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第33号	令和元年度上勝町後期高齢者医療特別会計補正予算（補正第１号）について		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第34号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	－
報告第35号	平成30年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		有		報告								－
報告第36号	平成30年度上勝町一般会計継続費繰越計算書の報告について		無		〃								－
報告第37号	株式会社かみかついっきゅうの経営状況について		無		〃								－
報告第38号	株式会社上勝バイオの経営状況について		無		〃								－
報告第39号	株式会社ウインズの経営状況について		無		〃								－
報告第40号	株式会社もくさんの経営状況について		無		〃								－
報告第41号	株式会社いろどりの経営状況について		有		〃								－
議案第42号	上勝町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第43号	財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて		無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第４号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について		無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
請願第３号	日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願		有	無	不採択	×	×	×	○	×	×	○	－
委員会の閉会中の継続調査について					承認	○	○	○	○	○	○	○	－
寄付の申し立てについて報告					報告								－

第２回定例会

会期　令和元年６月13日
閉会　令和元年６月21日

専決第３号 平成30年度 一般会計補正予算（補正第６号）

補正額（減額）**6,546万1千円**　　総額 **33億6,416万3千円**

主なもの
- 老人保護措置費（援助費）　△700万円
- 特養老人ホームプライバシー保護改修支援事業費（補助金）　△560万円
- 耕地災害復旧費（工事請負費（国補））　△523万円
- 町債償還利子　△502万円
- 災害弔慰金（援助費）　△500万円

令和元年度 一般会計補正予算（補正第１号）

補正額（追加）**2億1,510万5千円**　　総額 **32億2,010万5千円**

主なもの
- 財政調整基金積立金　9,100万円
- 公営住宅管理費（工事請負費（町単））　5,250万円
- 森林環境保全整備事業費（工事請負費（国補））　3,945万円
- 林道建設費（工事請負費（県単））　550万円

令和元年度 介護保険特別会計補正予算（補正第1号）

補正額（追加）**1,040万1千円**　　総額 **3億6,440万1千円**

主なもの
- 国県支出金精算返還金　274万円
- 介護給付費準備基金積立金　677万円

令和元年度 国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第1号）

補正額（追加）**622万7千円**　　総額 **1億1,322万7千円**

主なもの
- 修繕料　81万円

令和元年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（補正第1号）

補正額（追加）**101万3千円**　　総額 **4,601万3千円**

主なもの
- 後期高齢者医療広域連合保険料等　100万円

高鉾財産区管理会管理委員決定（任期：令和元年８月15日～令和５年８月14日）

山下俊洋（傍示）／大栗一夫（傍示）／前川博栄（正木）／清田吉朗（正木）／田村憲治（正木）

主な質疑・討論

議案第25号 上勝町ゼロ・ウェイストセンターの設置及び管理に関する条例の制定について

問 片山議員
上勝ゼロ・ウェイストセンターという名前の決定に至った経緯は。

答 傍示企画環境課長
上勝町の重要な施設ですので本年5月に職員、ゼロ・ウェイスト推進員、他現地管理人等にアンケート。日本で一番最初にゼロ・ウェイスト宣言をした自治体ですので、生態学・環境保全を考慮しながら名称90以上を参考にアンケートした結果選定した名称です。

問 片山議員
町民が親しみを持って使う施設と私は思う。町民から名称募集の選択肢はなかったのか。

答 傍示企画環境課長
今まで他の施設についても公募したことはない。現場なり推進員、職員なりのアンケートを参考として決めさせて貰った。

問 明本議員
コインランドリーについて伺う。一回当たりの洗濯・乾燥で1200円以上となっている。勝浦に設置の施設は大体1000円コースだ。同じくらいにならないのか。

答 傍示企画環境課長
料金は勝浦と同等もしくはそれ以下になるよう検討中です。

問 渡部議員
コインランドリーに関して洗剤・柔軟剤は環境にいいものを使って欲しい。

答 傍示企画環境課長
ゼロ・ウェイストの理に沿ったものにしてまいりたい。ベストでなくともよりベターで選んでいきたい。

問 星場議員
洗濯機の中に洗剤は全部自動投入なのか。洗剤なしの粗洗はできるのか。

答 傍示企画環境課長
洗剤は自動投入なので柔軟剤なしのボタンはある。洗剤を入れないという選択肢はない。業者に確認した所、全てのアレルギーに対応した自然素材の洗剤はないとの事。時間設定の変更・洗剤の変更も保証できないとの事です。

議案第30号 令和元年度上勝町一般会計補正予算（補正第1号）について

問 片山議員
総務費の中に、報償費謝礼92万4千円、敗訴した明本恵一ほか29名に、裁判費用の請求はできないのか。

答 花本町長
請求することもできないことはないが、請求できた判例はない。

問 松下議員
委託料と工事請負費についての説明を。

答 中原建設課長
委託料77万円は、寺内・中津地区の住宅地の水道施設設計分。工事請負費5千250万円は、寺内・中津地区の造成工事費。

問 明本議員
月ヶ谷温泉交流施設費の中での工事の内容は。

答 吉積産業課長
一階お風呂用ろ過器のフィルターの修繕です。

問 渡部議員
500個の菌床が無駄にしたのは素人のパート。少ない正社員であり、設備を入れても無駄ではないか。

答 吉積産業課長
平成5年に導入した機械、25年もたっていて老朽化しているので認めてもらいたい。

問 岡本議員
建設課の備品購入（草刈り機）昨年から調子が悪い事を知りながら、今ごろ予算計上とは対応が遅くないか。

答 中原建設課長
早急に対応していくように努めたい。

問 岡本議員
消防の備品購入の品物は。

答 細束総務課長
AEDが6台、エンジンカッター6台を各6分団に配備したいと考えている。

報告第35号 平成30年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

問 鹿島議員
消防団救助能力委向上資機材緊急整備事業とは。

答 細束総務課長
チェンソー及び爪付き油圧ジャッキを購入するものだ。各2台を整備する。

問 渡部議員
農林水産費の林業費のところ、景観条例等調査業務でどういう業務が残っているか。

答 吉積産業課長
県当局と調整中であり、景観計画のすり合わせをしている。実行性のある条例にするため、時間がかかっている。

報告第41号 株式会社いろどりの経営状況について

問 明本議員
会長を町のトップがやるというのには弊害が出る。適当でない。

答 森副町長
町あるいは第三セクターの状況に応じて就任するのは可能である。

問 鹿島議員
SDGs、未来都市の価値を活用して新たなブランド力を展開するとあるが、具体的な計画は。

答 吉積産業課長
企業が社会貢献の価値を内外に発信する事でブランド力を上げていく取組。

討論

賛成 岡本議員
椎茸ハウスの空調が問題となっているが、25年使って古くなったから、新しくすることは賛成だ。

賛成 片山議員
空調の修正動議が出て、そのことの話ばかりだが生活や地域に密着した予算も含まれているので賛成したい。

賛成 星場議員
本来の目的である職場確保には、傷んだ物は直しながら運営していかなければならない。

反対 渡部議員
老朽化しているのは空調だけではない。
他も新しくするようになり、採算が合わなくなる。

教育委員の任命に同意しました

下岡卓司氏
●任期 令和元年7月1日より令和5年6月30日まで

バイオ大赤字 なぜ

明本

ホダ木が多く腐った

町長

明本恵一 議員

金食いバイオいつまで

問 浜田社長2年目にして大赤字だ。最大の理由は何か。

答 花本町長
5千5百個の菌床ブロックが腐敗しダメになった。

問 月別従業員数は何人か。

答 吉積産業課長
30年度も10人体制でやっている。

問 バイオの会計が不透明だ。どんぶり勘定になっている。

答 花本町長
経費節減のため浜田社長夫妻が帳面付けしている。

廃棄される腐ったホダ木と異常発生した椎茸

問 町の監査委員の調査を議長にお願いしたい。総務省の指針にある外部監査も必要だ。

答 花本町長
外部監査は考えていない。

問 利益相反契約はどの様に実施されているか。

答 吉積産業課長
ホダ木の取引限度額を1億円と定め、承認されている。

問 総務省の指針にある危機管理フローチャートは実施されたか。

答 吉積産業課長
実施している。採算性はあると判断、継続となった。

問 総務省の「経営健全化等に関する指針」の指摘する外部監査を積極的に活用すべきと考える。

答 花本町長
外部監査を受ける考えはない。

日比ヶ谷ゴミセンター請負工事は

問 工程管理について、説明を求める。

答 花本町長
請負業者の出した工程どおりで、若干の遅れはある。

問 設計変更、購入物品の変更等はないか。

答 花本町長
変更はない、もくさんが間違っていた所のやり直しはあった。

問 ゼロ・ウエイストアカデミーが仕事を干されて廃業に追い込まれている。

答 花本町長
アカデミーにはゴミ処理を委託していた。その人件費276,000円（平成29年度）が減っただけだ。

CATV・インターネットの料金

問 IRU契約は改定時期になっているがどうするのか。

答 細束総務課長
契約内容に変更はなく改定しない。

問 利用料金改定交渉は現在どうなっているか。

答 細束総務課長
Aプラン
テレビ＋IP
Bプラン
テレビ＋IP＋インターネット100メガ
Cプラン
テレビ＋インターネット1ギガ
現在、利用料はテレ徳、勝浦町、上勝町の3者で交渉中だ。

問 通信速度ランク別料金にする理由とメリットについて説明を求める。

答 花本町長
一般の方は、100メガで十分と思う。1ギガで大量の映像等を送る業者が何社か来ている。

問 テレビとIP電話の家庭はどうなるのか。

答 細束総務課長
少しでも安くなるよう検討している。

徳新に、ゼロ・ウェイストアカデミー解散とあるが

片山

片山文昭 議員

ゼロ・ウェイストアカデミーは、存続していただきたい

企画環境課長

ごみゼロ宣言の現状と今後の展開について

問 6月3日の徳島新聞に、ゼロ・ウェイストアカデミー解散とあったが、3月議会の答弁と全然方向性の違う記事が載っていた。3月から以降変化があったのか。

答 傍示企画環境課長 町の方向は変わっておりません。アカデミーの解散ていうことは載っておりました。そのことについて、アカデミーより徳島新聞へ抗議をした。

一般社団法人の設立は

問 アカデミーと町の方針が違うのか。
町は、アカデミーの正会員か。

答 傍示企画環境課長 アカデミー、イコール町のゼロ・ウェイスト宣言ではない。
役場へのアドバイスや各種研修、啓発活動でゼロ・ウエストを浸透させるために大きな役割を担ってきた。
正会員だ。

問 令和元年と年号が改まり、2ヶ月が過ぎようとしているが、法人は設立したのか。

答 吉積産業課長 平成31年3月22日に名称を一般社団法人かみかつ森林環境公社の定款を承認頂き、3月28日に法人登記が完了した。

問 法人の職員等はどうなっているか。

答 吉積産業課長 理事は西利一、花本靖、吉積弘成。
監事は吉岡眞喜男となっている。
理事、監事以外は採用してしていない。

問 山林所有者にアンケートを採ると言っていたが、人数等は把握出来ているのか。

答 吉積産業課長 公社へ一部委託し、産業課と一緒に作業を進めている。
人数等は、林地台帳ベースで2千一〇〇人。筆数1万5千筆。

問 本年度の補助額は決定しているのか。
使用目的は決定しているのか。

答 吉積産業課長 確定していないが約1千300万円の予定。
経営管理意向調査に約450万円、残りは基金に積み立て、次年度以降森林整備等々に使用する。

問 初年度以降金額が増えていくが、基金に積み立てていけるのか。

答 吉積産業課長 単年で使わなくて良い。
基金状況を毎年報告するよう義務づけられている。

問 法人も設立でき、財源も出来た。
町長も、公約で山へ力を入れると言っているが、無駄に切り捨てられる山林が散見される。
スピード感をもって有効に使って欲しい。

答 花本町長 地元分団員が集まり易く、駐車場が確保でき、安全で環境の良い土地を探して欲しい。

国文祭の後始末について

問 国文祭作品に木材を使う趣旨は良かったが、防腐剤の含侵材は乾燥割れで劣化し、危険な作品が散見される。事故対応を含め、後始末をどうする予定か。

切り捨て放置された杉材

答 花本町長 私もそのように思っている。しかし、一番のネックはアンケートの結果で、何人の人が委託してくれるかが最大のことと思う。
流域である程度固まらないと飛び飛びでは非効率になる。
アンケートを実施して、それ以降の計画をスムーズに立てていくのが重要に思っている。

「上勝診療所の経営」「町税の滞納状況」「マイナンバーカードの発行状況」等も質問した。

三セクの恒常的な赤字解消策は

星場

星場眞人 議員

最大限の努力で対応したい

町長

問 残念ながら一部の三セクに於いて恒常的な赤字体質を感じる。体質改善が必要だと思うが、どう取り組まれるか。

答 花本町長 これは難しい問題だ。
三セクは行政と民間が共同出資で設立し、雇用確保等の公益性と収益性を考慮した経営を目指すものだけに採算ベースに乗り難い。しかし、赤字企業の収益改善は喫緊の課題であり、最大限の努力で取り組む。

問 例えば、「不要なチップボイラー」との新聞記事を見れば、住民に不信感を与えないか。

答 吉積産業課長 当初はホテル用と交流センター用を別々に導入したが、熱源を効率よく使うために大型ボイラーを優先的に稼働させており、小型の出番が減った訳で不要とは違う。

問 別会社では民間住宅を受注し、不慣れな対応で誤解を与え、不信感と赤字を出したと聞く。

答 花本町長 施主が多忙な方で、メールで対応を行った関係から確認が不充分になって迷惑をかけ、お詫び申し上げた。

消防施設の整備について

問 奥日浦の防火水槽はどうなった。

答 細束総務課長 地元消防団の要望で若生地区に変更した。本年度は要望が無く、先日、確認すると来年度の整備を要望すると聞いた。

問 地元消防団から要望がある分団詰所の改築はどうなっているか。

答 細束総務課長 地元分団長に用地の検討を依頼しているが、難航しているようだ。用地が出来次第、検討する。

問 森林環境税なるものが発足し、上勝の木材を生かしていこうと言う会社だけに、今後とも指導をお願いしたい。

国文祭作品には今も毎日、視察者が訪れる

答 清井住民課長 助成制度を設けて高齢ドライバーに免許証の自主返納を促すことは交通安全対策からも有効だと考えます。自主返納者に限らず、70歳又は75歳以上や障害者等の有償ボランティア輸送利用者への助成を検討している。

「町道管理」「東部広域農道整備の促進」等も質問した。

交通弱者への助成について

問 高齢ドライバーの事故が多発しており、免許証返納者等の交通弱者に対する有償ボランティア輸送の利用助成制度を創設されたい。

答 傍示企画環境課長 作品管理の事故責任等は町が対応する。期限は未定だが、危険で取り壊す場合の経費は町が負担して行いたい。

松下和照 議員

上勝阿波晩茶の苗木購入に助成を

松下

問 樹も強く末長く再生可能であり健康志向の時代。大人から幼児、病人に至っても飲用可能、現金収入にも最適、規模拡大や品種変更等々にむけて苗木の助成等出来ないか。

答 吉積産業課長

一般社団法人・上勝阿波晩茶協会に問い合わせた所、苗木の助成等々総量についてまだ把握できていない。会員農家の意向について取りまとめ中とのこと。苗木の補助については、上勝阿波晩茶協会の意向を伺いながら今後どのような支援ができるか前向きに検討したい。

上勝阿波晩茶協会の意向等伺って前向きに検討

産業課長

問 「ふるさと名物はこれ」上勝阿波晩茶の資料が出た。晩茶は、生産・加工・販売まで出来る内容、産業課長の感想は。

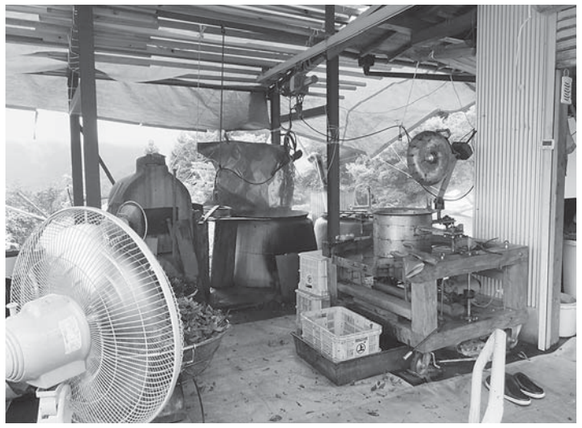
答 吉積産業課長

上勝町もふるさと名物応援宣言を町長の所信で述べた。上勝阿波晩茶が伝統を継承して生き残るためには、他産業との差別化をするために非常に有効と考える。

問 晩茶協会の組織化については評価をいただいているがその後変わりはないのか伺う。

答 吉積産業課長

設備趣旨は、上勝阿波晩茶の伝統に基づき産業として発展させることを目的としており、引続き行政の立場から支援していきたい。



晩茶の加工現場

町道上椛原線の拡幅等

問 市宇～椛原間の林道開設にともない接続される上椛原線の拡幅と改修が必要。

答 中原建設課長

地すべり地区という危険な場所で大きな改修、拡幅は困難。通常の維持補修は状況に応じて対応する。今後林道開設事業を予定しており、県担当部局と協議して検討する。

ふるさと納税等について

問 ふるさと納税の返礼品が問題となった。国の方針、県・町の対応を簡潔に伺う。

答 傍示企画環境課長

ふるさと納税に係る指定制度が告知され節税対策ではなく、ふるさと納税イコール地域への応援という本来の趣旨に立ち返る方針となった。返礼率を寄附額の3割以下と定め、返礼品は地域の生産物や宿泊体験など地場産品に限るとされており、上勝町は今回サイトにも登録し、商工会に委託。6月10日、返礼品の説明会を持ち、15事業所16名の参加を得た。

今年10月より納税サイトに公開、国の方針に沿うような商品を提供してまいりたい。

狭い道路の改良箇所

渡部厚子 議員

放射能汚染物、上勝町は　渡部

受け入れるつもりはない　町長

問 今年、徳島県で高濃度放射能汚染物の地層処分に関する説明会があり、町民が参加して非常に心配をしている。

その地図によると上勝町は埋立に好ましい地域にすっぽり入っている。

答 花本町長

それは地図の配置でたまたま入ったものと思う。

それと、私は受け入れるつもりはない。

役場のゼロ・ウェイスト度は

問 役場のゴミゼロの取り組みは。

答 井本支所長

青年会では夏祭りにおいて、ゼロ・ウェイストアカデミーからコップや皿を借り、ごみの排出抑制に努めている。

問 ごみ減量システムがあるのにそれを利用しなければ、上勝町も他町村と同じことだ。

残念ながらホタル祭りでは使い捨てカップが使われた。

青年会や消防隊はどのような取り組みを行っているか。

答 井本支所長

会議において、ペットボトルも使用することはあるが、お茶にすることもある。またごみはルールに従って分別している。

答 細束総務課長

会議等で可能な限りペットボトルをやめ、湯飲み等を使っている。

職員研修を行い、生ごみの堆肥化、内部資料は裏紙使用、文具等も可能な限りリサイクル商品を利用、ファイル等も再利用している。

灰皿撤去、なぜ時間差が

問 役場入口の灰皿は7月1日で撤去、コミセン前は据え置き、なぜか。

答 花本町長

国の方針で7月1日より行政庁舎、学校等は全面禁煙、公共施設は来年4月1日よりとなっている。

施行に必要な準備期間を考慮して段階的に施行したい。

コミセン前に喫煙者は集まるか

問 施行に必要な準備とは、喫煙室を作るのか。

一斉に禁煙にした方が混乱が起きないのでは。

また、受動喫煙の害についてどう考えているか。

答 花本町長

喫煙室は作らない。ポイ捨てとか火災予防を考えるとその期間は必要。

また、受動喫煙と病気の因果関係が全て証明されてはいないと考えている。

ジョクリックは産地擬装

問 NHKがジョクリックの上勝での活動を取材放映した。内容は。

答 吉積産業課長

私は見ていないので又聞きではあるが、ゴミゼロ宣言をした上勝町のイメージアップを有効に活用した放送であると伺っている。

問 そのとおり。イメージを有効に活用して宣伝していたが、実際はジョクリックは上勝の工房へ殆んど来ていない。

また放送ではくるくるショップへ布を捜しに来ていたが、実際には布を取りに来たこともない。

今後こういうイメージ活用が増えるのではと心配だ。

答 花本町長

ジョクリックは古着を再生しているので、上勝から出た布ではないかもしれないが、ゼロウェイストの理念にはかなっている。

鹿島國男 議員

風力発電の進捗は

現在10％程度

鹿島

問 風力発電の進捗は。

答 中原建設課長 10％程度、一工区（1基～6基）道路工事、二工区（7基～11基）進入路の木の伐採、三工区（12基～15基）木の伐採と基礎工事、電気工事は一部道路に埋設。残土置場はほぼ完成し、運び込みを開始した。

問 大型車輌が朝早くから通っているが町道は大丈夫か。

答 中原建設課長 工事に関係している道路を確認したが、特に支障はなかった。地域住民からも苦情はない。

建設課長

問 警備員は配置されているか。

答 中原建設課長 残土置場と入口に配置している。

生徒の交通事故は

問 通学の安全はどうしているか。

答 立川教育長 現在痛ましい事件や事故が多く報道されているが本町は、通学バスを運行している。家からバス停までは、保護者の責任でやっている。木曜日は徒歩登校を行っている。このときは、保護者、教員が西中橋とか南岡橋で指導している。

いじめについて

問 児童や生徒にいじめはあるのか。

答 立川教育長 平成27年5月に県教委から「いじめ防止基本方針」を作るように指導があった。今のところ、いじめはないと考えている。

不登校はあるのか

答 立川教育長 不登校は現在ある。定期的に家庭と連絡をとり、学級担任が家庭訪問し学習を支援している。また学校の状況を話すことによって、疎外感をなくす等にしている。またスクールソーシャルワーカーやカウンセラーと連携し保護者、児童、生徒への教育相談の充実に努めている。

住宅建設と移住者支援は

問 住宅用地を新たに整備するようになっているが入居者が定住できるように町は支援できるのか。

答 傍示企画環境課長 昨年移住の相談が67件あり43件が住まいの相談であった。まずは住まいと考えている。

答 吉積産業課長 優良農地の貸付は難しいが、農地の効率的な継承利用ができるような仕組づくりが急務と考えている。農業では、青年就農給付金、苗木補助等で自立できるようにしたい。新たなものでは、一般社団法人、かみかつ森林環境公社においても新規雇用を計画している。

建設が進む新ごみステーション

ごみステーションについて

問 新ごみステーションが完成したら、ボランティアタクシー、シルバー人材センターなどはどうなるのか。

答 清井住民課長 NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミーが業務を遂行できない場合は、住民サービスの低下にならないよう対応したい。

岡本 明 議員

今だに改善されないのはなぜか

要望はしている

岡本

建設課長

県道16号線について

問 八重地集落から八重地トンネルまでアスファルト舗装の修繕の要望をしていたが、未だに改善されない。どうなっているのか。

答 中原建設課長 県には要望しており、今年度の予算で対応できる所については実施に向け準備をしていきたい、と聞いている。

全部の対応は困難かと思われるが、町としても傷み等激しい所を順次、早期に対処していただくよう、具体的な所を協議していきたい。

問 今さら協議するというのは遅すぎる。即時、強い口調で県に要望していただきたい。

県道16号線草刈りについて

問 県道の草刈りは年2回シルバー人材センターが行っているが、一度目の草を刈る前に、草が大きくなりすぎて困っている。回数を増やして狭い箇所だけでも刈ってもらうことは出来ないか。

答 中原建設課長 県からは、多くの路線があり、予算面から考えてもなかなか対応出来ないと言われたが、安全性・緊急性などを訴え、協議したところ、県の直営作業で追加の話ももらっているので、状況を見守ってもらいたい。

毎年、道路にはみ出る雑草

県の道路パトロールについて

問 地元の方がボランティアで刈ってくれている箇所もあり、もし事故が起きれば大変なことになる。早急に対応をお願いしたい。

問 石が転がっていても拾わず、水が道を横断していても落ち葉を除くこともなく、抱えて持つことができる石もコーンを置くだけで、状況が変わっていない。パトロール車の作業内容は。

答 中原建設課長 パトロールは、2社に業務委託しており、週に1回、また夜間にも定期的にパトロールを行っている。落下物の処理、穴埋め作業等を行っている。ご指摘のパトロール車は、道路の状況変化を県に報告するために巡回している。

問 八重地集落から八重地トンネルまでは、アスファルトの状態が悪いのに、修繕出来ないのは報告が出来ていないからなのではないか。

答 中原建設課長 優先順位は県が判断する所であり、いくらか予算をとったと聞いている。要望はしていきたい。

座談会について

問 恒例になりつつある町長の座談会はいつ頃行う予定か。

答 花本町長 具体的な日にちは検討できていないが、座談会等で聞いたことを解決させるには、予算を組む必要があるので、11月中に行うことが出来れば、新年度予算に間に合うが、課長等の日程もあるので、相談して決めたい。

「町営バスの役場前運行」も質問した。

まちのようす

樫原の棚田ガール

彩保育園フェスティバル

全児童による徒歩通学

射手座造船所の管理作業

友釣り風景

議会総務委員による学校施設訪問

編集後記

今年は、雨が少ないと思われていたが、梅雨入りと同時に、雨ばかり続いています。

農業にも、影響が出始めている。

この季節、アユ釣りで賑う勝浦川も雨の影響なのか、ダムから下流では、解禁当日から全く釣れない状況が続いている。

近年では、予期せぬ雨など、異常気象となっている。避難指示や勧告がなくても、安全第一を考え、早めに指定された避難場所へ行って頂きたいと思います。

「自分の身は自分で守る」

（岡本）

発行／上勝町議会　〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原　☎0885(46)0111　IP 050-3438-8071　編集／議会広報調査特別委員会　印刷／鳥海印刷㈲

この広報紙は再生紙を使用しています。